

犯罪学

Criminology



院生アルバイト
「りぶおる」プレゼンツ

りるNavi

特定のトピックや主題に関する資料・
情報を収集する手順をまとめた調べ方案内
(パスファインダー) です。

りるNavi

Ritsumeikan University
Library Learning Navigation

りぶおる

学生アルバイト「りぶたま(Librarianの卵)」
から発展した院生アルバイトの名称。
知の象徴である鳥【Owl】から派生して
名付けました。知識や知恵を集結させ
て生かしていく姿が、大学院生たちの
精鋭さを表しています。

犯罪学とは

犯罪にかかわる事項を科学的に研究する学問。狭義には犯罪現象および犯罪原因をおもな研究対象とし、いわゆる事実学として位置づけられる。人間に関する行動科学・経験科学の知見に基づいて、犯罪行動、犯罪者に対する現実的事象を考察する。犯罪学はさらに、それぞれの学問的関心に従って、犯罪生物学、犯罪心理学、犯罪精神医学、犯罪社会学などに分かれるが、今日では統合される傾向にある。他方、広義には、犯罪防止のための諸方策を研究する刑事政策も含む。英米など刑事政策概念を有しない国々では、このように犯罪学を広義に理解する傾向がみられる。しかし、日本では一般的に、刑事政策と区別する趣旨から、狭義の犯罪学が理解されている。なお、犯罪学や刑事政策の概念のほかに、類似の概念として刑事学があり、これは犯罪学と刑事政策を含む概念であり、一部の学者がこれを用いているが、今日世界的に犯罪学が刑事学の概念を包含する傾向があり、また学問の混乱を回避する意味からもあまり用いられなくなった。いずれにせよ、犯罪学が総合科学として、最終的には犯罪の少ない快適な人間社会を目指すことには変わりはない。

(『日本大百科全書』より引用)

分類 (NDC9版)

図書館の書架を調べる際は、次の分類を中心に探すとよい。

分類番号	分野
140	心理学
145	異常心理学
146	臨床心理学, 精神分析学
320	法律

分類番号	分野
321	法学
326	刑法, 刑事法
361	社会学
368	社会病理

辞典・事典

以下【 】内は立正大学図書館における請求記号と所在を示す。

■『明治・大正・昭和・平成事件・犯罪大事典』【368.6/J 51 品川2F参考】

事件・犯罪研究会, 村野薫編, 東京法経学院出版, 2002

犯罪・事件のみを集めた珍しい事典。重大犯罪からテレビのやらせ事件まで、広く話題になった犯罪・事件が収録されている。明治～平成までの時代を反映した犯罪・事件を振り返ることで、現代の犯罪や社会について考え直すきっかけにもなる。厳密に事実だけが抑えられた事典を通して、自分なりに考えを深めていくことができる。

■『自殺予防事典』【368.3/E 88 品川2F参考】

グレン・エヴァンズ, ノーマン・L・ファーブローウ著; 小川真弓, 徳永優子, 吉田美樹訳, 明石書店, 2006

自殺の歴史や種類から、自殺予防の取り組み、自殺をめぐる考え方など、広く自殺についての情報を集めた事典。自殺という問題の複雑さについて考え、知識を深めることで、自分や誰かを助けることができるようになるかもしれない。自殺の歴史や民族・宗教による考え方の違いなど、意外と聞く機会のない情報が多い、興味深い一冊。

入門書

■『ケースで学ぶ犯罪心理学』再版【326.34/O-15 品川2F学修支援 / 品川B1図書】

越智啓太著, 北大路書房, 2018

「連続殺人」「テロリズム」など犯罪種別に章立てされており、犯罪心理学の用語や理論が短くわかりやすくまとめられている。後半は「プロファイリング」など捜査心理学もいくつか紹介している。実際の事件を多く紹介しているため、犯罪心理学を身近に感じながら学ぶことができる。巻末付録に「映画で学ぶ犯罪心理学」を収録。

■『よくわかる犯罪社会学入門』改訂版【368.6/Y 79 品川B1図書】

矢島正見, 丸秀康, 山本功編著, 学陽書房, 2009

犯罪を社会との関わりから考察する犯罪社会学について、ゼロからわかりやすく学ぶことができる。そもそも犯罪・非行とは何だろう？という疑問から始まり、犯罪社会学の調査の方法や有名な理論まで、まとめられている。

★社会学 の観点から犯罪学を考える

■『犯罪学入門』【326.3/W 46 品川B1図書】

渡辺巧著, 成文堂, 2009

犯罪実態と犯罪に対する理論や取り組みの理解を通じて、犯罪の防止に貢献するための入門書。各章では犯罪学の学問的特徴、犯罪情勢の概況、犯罪種別に実態や理論、防止のための対策などをわかりやすく紹介している。

★法学 の観点から犯罪学を考える

■『犯罪心理学がよ~くわかる本：ポケット図解：人が犯罪に走る理由を解明す

【326.34/O-15 品川B1図書】 越智啓太著, 秀和システム, 2009

犯罪心理学の分野を広く紹介しており、学問としての犯罪心理学に触れることができる。犯罪の特性や原因、捜査や再犯防止など、幅広い分野を1トピック1ページにまとめており、各ページが独立しているため読みやすい。

★心理学 の観点から犯罪学を考える

雑誌

■『犯罪と非行』【360.5/56 品川B3雑誌（新刊は3F開架雑誌コーナー）】

青少年福祉センター

1969年から2016年まで刊行されていた、青少年犯罪や非行の予防、更生保護、カウンセリング、刑事政策などの研究を専門に発表する機関誌。当時の時代の流れに即した犯罪の研究や、その対策を読むことができる。

■『アディクションと家族』【360.5/61 品川B3雑誌（新刊は3F開架雑誌コーナー）】

家族機能研究所

1984年から2023年まで刊行されていた、日本で唯一の嗜癖（アディクション）問題の専門誌。児童虐待、思春期の対親暴力、DV、アルコール・薬物・ギャンブル依存症や摂食障害、ひきこもりなどの研究や最新情報を掲載。

インターネット 学会サイト等

■『日本犯罪社会学会』 <http://hansha.daishodai.ac.jp/>

犯罪・非行問題について社会的な見地から研究活動を行っており、学術大会の開催および機関誌『犯罪社会学研究』を毎年発行している。また年3回のニュースレターやシンポジウムの情報などをweb上で公開している。

■『日本犯罪心理学会』 <https://www.jacpsy.jp/>

年2回学会誌『犯罪心理学研究』の発行、年1回の大会、全国で研究会等を実施している。Web上で毎月コラムがアップされており、学会員が持ち回りで最先端の情報や経験談などを紹介している。（バックナンバーあり）